



2016年度 松代幼稚園施設関係者評価委員会

日時 2017年3月1日(水) インフルエンザで学級閉鎖のため中止
文書を送付し回答で実施

評価委員メンバー (松代教会員・評議員) 鍛冶倉千陽
(元教職員・教会員・評議員) 中島美恵子
(保護者会会長)村松洋次郎 (保護者会副会長)寺尾由紀 (保護者会書記)高橋幸子
内容 幼稚園事業報告 保護者アンケート・教職員自己評価 を踏まえて

まつしろようちえんのスローガン・・・「一人ひとりが主役です」

年主題・・・「平和」をつくる

- ① 神様に愛されている子ども
- ② 遊びの中で生きる力を
- ③ 表現力豊かな子どもに
- ④ 健康の身体を育てる
- ⑤ 幼児自身が危機意識を持ち危険から身を守るように安全教育を推進する。

ご意見

- ・ アンケートより認定こども園に移行し、様々な変化があり先生方もご苦労されていると思う、保育時間がいろいろあったり、子ども達の配慮が様々に必要だったり先生方の負担が大きくなっていることを感じる。保護者の要望が多様になっている中で、先生方が真剣に愛情を持って子ども達を見つめ、健やかな成長のために力を尽くしてくださっていること、それが保護者に伝わっていると思う。
- ・ 子どもが最初に出会う外の世界が幼稚園だと思う。この大事な時期を共に歩む先生方が日々心豊かに過ごせるようにするために、できる限りの工夫をし、力を合わせて欲しい。
- ・ 教職員自己評価が保護者評価に比べて低い結果になったのは、より良い保育を目指す教職員の方々の向上心の表れだと思う。
- ・ 保育と同時にキリスト教についてお学びも深めて頂ければと思う。
- ・ 先生方が温かく本当に子ども一人ひとり愛情を持って接して下さって、子どもの様子をとてもよく見て頂いている。
- ・ 先生の怒ってる声が常に聞こえる園もある中、笑顔でいる先生がいつもいて良い環境だと思っています。そして怒るときはきちんと怒っていただいていると思います。
- ・ 「安心して小学校に進学できる取り組みがされている」という項目で保護者と教職員との評価に若干の温度差があるように感じた。幼稚園が何に重きを置いて幼児教育に取り組んでいるか保護者に理解されていない部分があるのかもしれない。しかし、小学校に入学すれば学習教育が始まり競争社会に進まざるをえない我が子のことを案じるのだろう。幼稚園でワークブックを用いた学習教育がなされなくても、何らかのアドバイスがある中で保護者も安心して入学準備ができるかもしれない。
- ・ インターネットを活用した情報提供では安全面に気を配るなど時代に即した安全対策がなされている。避難訓練も実践的になり生きていく上で大切な「自分で自分の身を守る」ことを子ども達に教える良い機会になっていると思う。
- ・ ワークブックを使っただけの学習もひらがなで自分の名前が書いて読めればよいという園の考えに同意している。平仮名は小学校へ行けば習えるし・・・早く学習させたい親の気持ちがわからない。幼稚園なのに勉強もしないと・・・いっている話も聞くが。園児募集の時に説明してもよいのでは。
- ・ ワークブックなどを使った学習は幼稚園では必要ないと思う。他に幼稚園の時期にしか学べないもっと大切なことを沢山経験させていただいていると思う。
- ・ 親が参加しなければならぬ行事が多いなど、その時は負担に思うかもしれませんが、過ぎてみると本当にその時にしか作ることのできなかつた思い出をたくさん作らせていただいたと感じる。
- ・ 色んなことが便利になったり、働く保護者が多くなり要望はいくらでも出てくるとは思いますが、大切な所はしっかりと残し、信念を持って変えていくところと、あえて変えないところがあるというのが良い。この松代幼稚園らしさをこれからも自信を持って続けて頂きたいと思う。
- ・ 神様に愛されていることをいつも子供たちに伝えて下さって、とてもあたたかく、愛に包まれています。

園に出ていくのが大変という意見もあるが、子どもにとって親と一緒にいてくれること、一緒に何かを作ることとはとても嬉しい事。親が大変だからやめてしまうということはしてほしくない。親が子どものためにやってくれる事、親子にとってよいと思う。

- いろんな子供（家庭環境・発達など）がいて、先生方は大変だと思う。しかし子供にとっては、「いろんな人がいる」ということを自然に受け入れることができ良い環境だと思う。
- 駐車場が少なく不便なことは確か。事務室前の駐車場も3台停めるには、難しいこともある。
（白線を引くなど整備を行い、止めやすくする予定です）
- バスの時間がもう少し安定できるように。
- 保護者のアンケートの意見で保護者会の活動として、どうしてもフルタイム勤務されていない保護者に負担が寄ってしまうという意見があった。しかしやってみれば楽しいものだったのでこのままで良いのでは。そのような活動をしたくないが家庭は違う園に入れればよい。やってもらう前提で園児募集をするのも一つだと思う。
- 先生方が増えて連絡など大変なこともあると思いますが、新しい風が入って、沢山の先生がいて子ども達もうれしい。先生方が同じ方向を向いていらっしゃったら、細かい問題はあるかもしれませんがそれでよいと思います。

次年度に向けて

- 認定こども園として歩み始め2年目を迎えます。体制なども変わり、職員の人数も増えてきています。しかし保育の質を下げないように今まで以上に教職員の連絡を密にして保育を充実させ、お家の方々にも園の大事にしていることを伝えていかれる努力をし、子どもの育ちを見守っていきたいと思う。温かな目で見守ってくださっていることに感謝をしています。